# 教育委員会の点検・評価報告書

（令和５年４月～令和６年３月対象）

令和６年９月

館山市教育委員会

# 点検・評価報告書

１　点検・評価の期間

令和５年４月１日から令和６年３月３１日まで

２　点検・評価の方法

第４期館山市教育基本計画（館山市教育大綱）（令和３年度～令和７年度）の事務事業の進捗状況等をもとに点検・評価を行いました。

また，館山市総合計画審議会において，意見を聴取し，点検・評価の客観性の確保に努めました。

３　点検・評価の結果

別紙のとおり

４　点検・評価の一般への公開

館山市ホームページにて公開

# 子育て

基本目標１

互いに助け合い　誰もが健康で
いきいきと暮らせるまち

## 第１節　子育て環境の充実

### ■ 基本方針

- 多様な家族形態や保育ニーズに、きめ細かい対応ができる子育て支援サービスの充実を図ります。
- 切れ目のない子育て支援を強化し、子育てに対する不安や負担を軽減するとともに、安心して子どもを産み育てることができる環境を整備します。

### （１） 子育てしやすい環境づくりの推進

| 計画事業名 | 事業内容 | 担当課 |
|---|---|---|
| 子育て支援事業 | 保護者が必要とする施設や事業等の情報提供とともに、病児・病後児保育事業を実施し、子育て支援を推進します。 | こども課 |
| 【 実施状況 】 | ・利用者支援員を複数配置（２名体制）し、こども課窓口や元気な広場にて子育て支援事業等の利用に関し、寄り添い型の支援を実施しました。<br>・病児・病後児保育事業を委託により実施しました。 | |
| 【 成果と課題 】<br>〔○成果 ▲課題〕 | ○利用者支援員により、子育てのサービスが円滑に利用できるような身近な場所で、子育て支援の情報提供及び必要に応じた相談ができました。<br>（対応件数 1,235 件）<br>▲子どもの成長とともに相談者は変わるため、利用者支援員による相談窓口に関し定期的なＰＲを行い、周知に努める必要があります。<br>○子どもが病気等で自宅での看護ができない場合に、一時的に保育を行う病児・病後児保育事業を利用することで、保護者の仕事と子育ての両立を支援しました。<br>○新型コロナウイルス感染症の影響により減少した利用者が、コロナ禍以前と同程度まで増加しました。 | |

| | | |
|---|---|---|
| 重点<br>保育園・こども園における保育サービスの充実 | 多様化する保育ニーズに対応するため、延長保育や土曜・休日保育、預かり保育の充実を図るとともに、私立保育園に対する運営支援を行います。また、在宅乳幼児等の保護者の子育て支援として「一時預かり事業」の充実を図ります。 | こども課 |
| 【 実施状況 】 | ・北条幼稚園の認定こども園への移行について、公私連携幼保連携型認定こども園の設置に向けて、交付金の申請を行いました。<br>・北条幼稚園及び那古幼稚園において、預かり保育を実施しています。<br>・市内私立保育園４園及び私立幼稚園１園に対し、補助金を交付し運営費等の支援を行いました。 | |
| 【 成果と課題 】<br>〔○成果 ▲課題〕 | ○保育園での完全給食を実施しました。<br>○使用済みおむつを持ち帰ることなく、園で処分することとしました。<br>○私立保育園に対し、保育士の処遇改善のため、運営費補助を行いました。<br>▲延長保育や休日保育の充実について、公立・私立園ともに人的資源不足により拡充することができませんでした。 | |

| | | |
|---|---|---|
| 幼児教育の充実 | 北条幼稚園の幼稚園型認定こども園への移行について検討するとともに、私立幼稚園及び私立保育園に通う保護者に対する支援を行います。また、短時間児について、公立こども園での３歳からの受け入れについて検討します。 | こども課 |
| 【 実施状況 】 | ・北条幼稚園の認定こども園への移行について、公私連携幼保連携型認定こども園の設置に向けて、交付金の申請を行いました。<br>・幼児教育無償化に伴い、私立認定こども園及び新制度に移行していない私立幼稚園を利用する世帯に対し、保育料等を助成しました。 | |
| 【 成果と課題 】<br>〔○成果 ▲課題〕 | ○北条幼稚園の認定こども園への移行について、公私連携幼保連携型認定こども園の設置に向けて、交付金の申請を行い、事業を進捗することができました。<br>▲３歳からの短時間児の公立こども園での受入れについて、待機児童対策の優先により、実現することができませんでした。<br>▲少子化や幼稚園への就園率の減少により、園児数が少ない小規模幼稚園では、集団による教育・保育の提供が課題となっています。 | |

| | | |
|---|---|---|
| 重点<br>「元気な広場」運営事業 | 子育て親子や世代間の交流、子育てに関する相談及び情報提供を通じた不安解消を図るため、子育て支援拠点「元気な広場」の運営及び「出張子育てひろば」の実施を推進します。また、会員間の相互援助活動を支援するファミリー・サポート・センター事業を推進し、子育て支援ネットワークの拡充に努めます。 | こども課 |

| | |
|---|---|
| 【 実施状況 】 | 元気な広場及びファミリー・サポート・センター事業の運営は、指定管理により実施しています。新型コロナウイルス感染症予防対策として、入場数の制限や窓口での検温、遊具の定期的な消毒等を徹底しながら、親子が安心して利用できる癒しの空間や子育ての情報を入手できる講座及び育児相談等を提供しました。 |
| 【 成果と課題 】<br><br>〔○成果 ▲課題〕 | ○利用者の拡大と交流の場として様々なイベントを行い、利用者数増につながりました。<br>元気な広場利用者数　延べ　　21,205 人<br>出張子育て広場利用者数（船形、九重、房南他）延べ　557 人<br>ファミリー・サポート・センター事業活動件数　延べ　45 件<br>○開設から 14 年で、延べ 35 万人の来館者数を迎えました。<br>▲ファミリー・サポート・センターの円滑な活動のため、会員登録の拡大（特に援助会員）が必要です。 |

| | | |
|---|---|---|
| 学童クラブ運営事業 | 小学校下校後に保護者が家庭にいない留守家庭児童の健全育成と安全確保のため、公設化等による安定的で質の高い学童クラブの運営に努めます。 | こども課 |
| 【 実施状況 】 | ・公設学童クラブを運営委託により実施するとともに、保護者会が運営する学童クラブへ運営費の補助を行いました。<br>・利用者ニーズの増大に対し、定員拡大となる調整を行いました。<br>・令和４年度に感染症対策として導入した、登降所システムや手洗い場の自動水栓を引き続き有効活用し、安全対策に努めました。 | |
| 【 成果と課題 】<br>〔○成果 ▲課題〕 | ○放課後に児童が安心して生活できる居場所の確保と、次世代を担う児童の健全な育成の支援、仕事と子育ての両立を行う保護者への支援に繋がりました。<br>○受け入れ態勢を整え、安定した質の高い学童クラブの運営を行いました。<br>▲良好な運営から利用者が増えており、時期により、高学年児童が利用できない状況にありました。<br>▲個別対応が必要な児童の増加により、支援員の負担が増えています。<br>▲安定的な公設学童クラブ運営を図るため、支援員の人材確保が課題です。 | |

**（２）子育て環境の整備**

| 計画事業名 | 事業内容 | 担当課 |
|---|---|---|
| 児童虐待防止ネットワーク事業 | 要保護児童対策地域協議会を中心に、関係機関との連携や情報の共有化に努め、児童虐待への対応や虐待を未然に防止するためのネットワーク体制を強化します。 | こども課 |
| 【 実施状況 】 | 要保護児童対策地域協議会実務者会議を年６回、そのほか状況に応じて、必要な関係機関のみで情報共有や対応策を検討する個別支援会議を随時開催し、児童虐待の未然防止に努めました。 | |
| 【 成果と課題 】<br>〔○成果 ▲課題〕 | ○ネットワーク体制の整備により、関係機関との連携が進み、見守りの強化が図られたことにより、重大な事故を未然に防止することができました。<br>▲家庭の抱える課題が複雑化しており、長期的に家庭に関わる必要が出てきており、社会福祉、高齢者福祉、障害福祉、ＤＶ など他分野との更なる連携について検討が必要です。 | |

| | | |
|---|---|---|
| 保育園・幼稚園・こども園・学童クラブの整備及び安全対策の充実 | 【こども課】<br>保育・教育環境の向上のため、老朽化した施設の整備改修を行うとともに、北条地区及び那古地区のこども園化を検討します。また、園児の安全を確保するため、食物アレルギー対策や「新しい生活様式」に対応した安全・安心な体制を強化します。 | こども課<br>建築施設課 |
| 【 実施状況 】 | 【こども課】<br>・北条幼稚園の認定こども園への移行について、公私連携幼保連携型認定こども園の設置に向けて、交付金の申請を行いました。<br>・園長会議、調理担当者会議、看護師会議等を通じて共通認識を深めることで危機管理の徹底を図りました。<br>【建築施設課】<br>・北条幼稚園渡り廊下屋根改修が完了しました。 | |
| 【 成果と課題 】<br>〔○成果 ▲課題〕 | ○北条幼稚園の認定こども園への移行について、公私連携幼保連携型認定こども園の設置に向けて、交付金の申請を行い、事業を進捗することができました。<br>▲災害や犯罪等から園児を守るため、関係団体等との連携・協力体制の更なる強化が課題となっています。<br>▲多様化するアレルギーについて、個別に適切な対応ができるよう更なる対策が課題となっています。<br>【建築施設課】<br>○北条幼稚園の渡り廊下屋根改修によって雨漏りがなくなり、安全が確保されました。 | |

# 基本目標２

# 教育・文化

## 地域への誇りと愛着をもち
## 心豊かな人材が育つまち

## 第１節　学校教育の充実

### ■ 基本方針

- 「生きる力」の育成に向け、「確かな学力・豊かな心・健やかな体」を育てる教育活動を推進します。
- 地域資源・地域人材を活用した特色のある教育を推進します。
- 子どもたちの可能性を伸ばすことのできる教育環境の整備・充実に努めます。

### （１）「生きる力」を育成する教育の推進

| 計画事業名 | 事業内容 | 担当課 |
|---|---|---|
| 重点<br>「生きる力」を育成する教育の推進 | 学力向上プロジェクト委員会の充実や学力向上推進コーディネーターの有効活用などにより、小中一貫した教育活動を推進します。 | 教育総務課 |
| 【 実施状況 】 | ・各校の学力向上担当に対し、全国学力学習状況調査の分析と活用に係る研修を実施しました。さらに各校で分析を共有し、分析に基づいた授業実践を行いました。<br>・全小中学校に学力向上推進コーディネーターを、全小学校に英語に特化した学力向上推進コーディネーターを配置しました。<br>・学力向上プロジェクト委員会については廃止し、必要な情報交換、提供は教務主任会で実施しました。 | |
| 【 成果と課題 】<br>〔○成果 ▲課題〕 | ○学力向上推進コーディネーターの活用や、全国学力学習状況調査の分析を基にした授業実践により、学力向上につながる授業改善が図られました。<br>▲より一層小中一貫した教育活動を推進するためには、小中教職員が互いの教育活動の参観や、教科の系統性を理解する必要があります。 | |

| | | |
|---|---|---|
| 福祉・環境・キャリア教育の推進 | 学校での指導や職場体験学習を通じ、豊かな人間性や社会性をはぐくみながら、変化の激しい社会の中で、たくましく生きる力を育成します。 | 教育総務課 |
| 【 実施状況 】 | ４年ぶりに職場体験を実施しました。（Ｒ２～Ｒ４は新型コロナウイルス感染症の影響により中止） | |
| 【 成果と課題 】<br>〔○成果 ▲課題〕 | ○実際に働く体験と、働く姿を目の前でみる経験により、「働くこと」への興味関心や、自身の将来を考える機会となりました。<br>▲変化の激しい社会、多様化の進む社会に対応したキャリア教育の推進が重要となっています。既存の職業に触れるだけでなく、「働くこと」について学び考える時間を充実させていくことも必要だと考えています。 | |

| | | |
|---|---|---|
| 国際理解教育の推進 | 小・中学校に英語指導を行う外国語指導助手（ＡＬＴ）を配置し、国際感覚豊かな児童生徒の育成に取り組みます。 | 教育総務課 |
| 【 実施状況 】 | 民間委託による外国語指導講師（ＡＬＴ）を小学校に３名、中学校に２名配置しました。 | |
| 【 成果と課題 】<br>〔○成果 ▲課題〕 | ○授業でネイティブな発音を聞くことができ、またＡＬＴの出身国の文化を知ることができました。小中英語主任対象の研修会を実施することで、指導力の向上を図ることができました。<br>▲小学校での「外国語活動」（３・４年）、「外国語」（５・６年）の導入から４年が経過し、小中学校のさらなる連携が必要です。 | |

| | | |
|---|---|---|
| 情報（モラル）教育の推進 | 高度化する情報社会の中で、健全かつ有効に情報を活用していくための正しい知識と技術の習得、適切な判断力・活用力の育成を図ります。 | 教育総務課 |
| 【 実施状況 】 | ・国の進めるＧＩＧＡスクール構想に伴い、導入した通信環境や、一人一台タブレット端末・大型モニターなどの活用が各学校の実態や発達段階に応じて進められています。それらを活用する中で、情報知識や技術の習得を推進し、情報活用能力を育成しています。<br>・情報モラルについてＩＣＴ支援員と連携した校内研修を行うとともに、スマートフォンやインターネットなどの活用方法に関する指導を行っています。 | |
| 【 成果と課題 】<br>〔○成果 ▲課題〕 | ○児童生徒の情報機器等の利活用を通して、情報活用能力が向上しています。<br>▲国の進めるＧＩＧＡスクール構想に伴い、令和３年度から本格的に導入された通信環境や一人一台タブレット端末、大型モニターなど、これまで以上に教職員のＩＣＴ機器等を活用した指導技術を高める手立てが必要です。 | |

| | | |
|---|---|---|
| 学校給食事業 | 安全かつ安定した学校給食の提供を図るため、維持管理及び運営を一体とした事業を実施します。また、栄養や食習慣に関する正しい知識の習得を指導し、児童生徒の健やかな心身の育成を図るとともに、学校給食にできる限り館山市産及び千葉県産の食材を使用することにより、食育や地産地消を推進します。 | 教育総務課（学校給食センター） |
| 【 実施状況 】 | ・施設の維持管理・運営をＰＦＩ事業者が一体的に実施しています。<br>・食材については、学校給食に見合った規格や価格のもので、数量が確保できた場合は、優先して学校給食センターに地場産物を納入するよう納入業者に依頼し、地産地消に努めています。<br>・兵庫県丹波篠山市とお互いに地場産物を紹介する給食交流が開始されました。 | |
| 【 成果と課題 】<br>〔○成果 ▲課題〕 | ○ＰＦＩ事業者の専門的なノウハウにより効率的で効果的な施設の維持管理が実施され、安全かつ安定した学校給食が提供されました。<br>○食材において学校給食で提供する米は全て館山産を使用しています。６月に「県民の日給食」、11 月に「千産千消デー献立」を設け、その他の食材においても館山産及び千葉産の使用に努めています。<br>▲地産地消や食育の観点から学校給食にはなるべく地場産物を利用したいところですが、一日当たりの給食提供数が多く大量の食材が必要なため、必要量の地場産物が揃う日が少ないのが実情です。今後も納入業者に地場産物の確保を依頼するなど、地産地消の推進に努めます。 | |

| | | |
|---|---|---|
| 小・中学校体育振興の推進 | 陸上競技大会の開催や県中学校総合体育大会等への参加促進により、児童生徒の体育実技及び体力の向上を図ります。 | 教育総務課 |
| 【 実施状況 】 | 児童生徒の体育振興を目的として、館山市小中学校体育振興会及び各中学校の部活動に対して補助を行っています。<br>小学校の体操教室、陸上競技記録会の開催、中学校の総合体育大会、新人体育大会など各種大会等への参加が、主な活動となっています。 | |
| 【 成果と課題 】<br>〔○成果 ▲課題〕 | ○体操教室、陸上競技記録会及び各種大会への参加を通じて、小中学生の体力、競技力の向上が図られています。<br>▲夏季の気温が高く、熱中症対策により陸上競技大会の練習が思うようにできずに大会を迎えた学校が多くありました。 | |

| | | |
|---|---|---|
| 小児生活習慣病予防検診事業 | 近年、増加傾向にある生活習慣病の早期発見や適切な指導のため、児童生徒に対する検診を実施し、疾病の予防を図ります。 | 教育総務課 |
| 【 実施状況 】 | 小学校５年生及び中学校２年生を対象として検診を実施、有所見者に対して説明会を開催し、個別指導を行いました。 | |
| 【 成果と課題 】<br>〔○成果 ▲課題〕 | ○有所見者の個別指導を行うことにより、生活習慣改善に向けた具体的な取組を伝えることができました。 | |

| | | |
|---|---|---|
| 特別支援教育体制の推進 | 特別な支援を必要とする児童生徒への一貫した教育相談と支援体制を充実させるため、関係者・関係機関とのネットワークの構築を図ります。 | 教育総務課 |
| 【 実施状況 】 | ・特別な支援を要する児童生徒の学習及び生活支援等を行うため、小・中学校に特別支援教育学習支援員を配置しました。<br>・特別な支援を要する幼児が、円滑に小学校生活に移行できるよう、各園において保護者との教育相談を行いました。<br>・幼稚園・保育園・こども園、小・中学校に特別支援教育対策チーム員による巡回相談を実施するとともに、医療機関をはじめ、庁内関係課、民間事業所との連携を強化しています。 | |
| 【 成果と課題 】<br>〔○成果 ▲課題〕 | ○特別支援教育学習支援員の配置により、支援を要する児童生徒一人一人の実態に応じた支援を行うことができました。<br>○関係機関との連携を強化することにより、継続的、多角的に児童生徒及び保護者の支援を行うことができました。<br>▲支援を必要とする児童生徒が増加しているため、園内、校内の相談体制の充実、支援員の増員が必要です。また、特別支援教育についての教職員の理解や指導力等の向上が課題となっています。 | |

| | | |
|---|---|---|
| 教育相談体制の充実 | スクールカウンセラーやいじめ相談室などを積極的に周知し、児童生徒の様々な悩み（学力や人間関係、いじめ等）に対する教育相談体制の充実を図ります。 | 教育総務課 |
| 【 実施状況 】 | ・教育支援センターを運営し、不登校児童生徒の支援を行いました。部屋を１つ増やし個別に対応できる環境を整えました。<br>・スクールカウンセラーが全校に配置され、小中学校の教育相談体制の充実を図るとともに、生徒指導委員会や生徒支援委員会に参加してもらい、児童生徒への対応について助言を頂きました。<br>・各校で教育相談日を設け、子供の悩みなどのサインを見逃さないよう努めました。<br>・長欠対策主任研修会を実施し、長欠児童生徒の現状を把握し、その解消に努めました。<br>・中学校区生徒指導連絡会議を実施し、小中連携した課題について情報の共有を図りました。<br>・児童生徒を対象として、心理テスト（ｈｙｐｅｒ－ＱＵ）を実施し、その結果をもとに個別指導にあたりました。 | |
| 【 成果と課題 】<br>〔○成果 ▲課題〕 | ○教育支援センターが設置されていることで、児童生徒に学習支援をすることができました。<br>○スクールカウンセラーとの教育相談を位置づけたことで、児童生徒一人一人の声を詳細に聴くことができました。<br>○心理テストの結果を分析することで、児童生徒の心情や学級の状態を客観的に捉えることができ、指導に活かすことができました。<br>▲長欠、不登校児童生徒が増加傾向にありとともに、その理由も多様化しています。一人一人の実態に合わせた支援をさらに充実させていく必要があります。 | |

| | | |
|---|---|---|
| 児童生徒の安全対策の充実 | 災害・事故等に対する安全指導と、緊急時への備えを行い、児童生徒の安全確保に努めます。 | 教育総務課 |
| 【 実施状況 】 | ・学校危機管理マニュアルの見直しを適宜行い、各校において教職員の危機管理意識の向上を図っています。<br>・安全対策主任研修会を実施し、生活安全・交通安全・災害安全について自校の取組状況の評価を行い、学校間で情報を共有しました。<br>・通学路危険箇所について、館山市通学路交通安全プログラムに基づき、関係機関と連携し、危険箇所の改善に取り組んでいます。<br>・熱中症事故予防対策のため、各学校へ暑さ指数計測器を導入し、各種活動の際に活用しています。 | |
| 【 成果と課題 】<br>〔○成果 ▲課題〕 | ○交通安全だけでなく、防災、防犯の視点からも通学路を点検することで、通学路の安全対策が進んでいます。<br>○暑さ指数計測器を導入し、各種活動の際に活用することで、児童生徒の健康安全管理の推進に努めることができています。<br>▲通学路の安全対策については、学校職員だけでは対応が困難なことから、保護者、地域住民、関係機関等との更なる連携が必要です。 | |

| | | |
|---|---|---|
| 教職員研修の充実 | 教職員の資質・力量の向上を図り、特色ある教育活動を推進します。 | 教育総務課 |
| 【 実施状況 】 | 年間を通じて、職務別研修、事務分掌・教科別研修を実施しました。 | |
| 【 成果と課題 】<br>〔○成果 ▲課題〕 | ○生徒指導上の諸課題や学級経営、また、特別支援教育、外国語教育、ＩＣＴ教育、学校事務に関する知識が広まりました。<br>▲若手教職員の増加や、社会情勢の変化に伴う多様な要請に対応するために、研修の必要性は高まっている一方で、教職員の業務削減とのバランスが課題です。 | |

**（２） 教育活動の充実**

| 計画事業名 | 事業内容 | 担当課 |
|---|---|---|
| 地域資源・地域人材を活用した特色ある学校づくり | 歴史副読本『さとみ物語』等を活用した授業を展開するなど、地域資源・地域人材を活用した学習を推進し、児童生徒の地域への誇りと愛着心を高めます。 | 教育総務課 |
| 【 実施状況 】 | ・小学校６年生、中学校２年生が歴史副読本「さとみ物語」を活用した授業を実施しました。<br>・社会科、生活科、総合的な学習の時間において、地域についての学習を推進しました。 | |
| 【 成果と課題 】<br>〔○成果 ▲課題〕 | ○歴史副読本「さとみ物語」を活用した学習により、館山という地域を再発見し、地域への誇りを高めることができました。<br>○社会科、生活科、総合的な学習の時間では、地域への理解や地域の良さを学ぶ機会になり、地域への愛着を育むことができました。<br>▲地域人材の活用について、コロナ禍で活用を見合わせていたことや、協力してくれる人材の高齢化等があり、新たな人材を確保していく必要があります。 | |

| | | |
|---|---|---|
| 芸術・文化による豊かな心の育成 | 児童生徒へ優れた芸術・文化に接する機会を提供し、豊かな心の育成を図ります。 | 教育総務課 |
| 【 実施状況 】 | ・小学生３・４年生を対象に千葉交響楽団による「館山市音楽鑑賞教室」を開催しました。（隔年開催）<br>・館山市文化祭「子ども音楽会」を開催しました。<br>・国、県、各種団体の文化芸術に関する事業を小中学校に紹介し、各校の状況に応じて活用しました。 | |
| 【 成果と課題 】<br>〔○成果 ▲課題〕 | ○音楽祭や学芸展などの文化活動を通じて、児童生徒の豊かな心の育成につながっています。<br>◆地域性により、多様な芸術、文化に触れる機会が多くありません。 | |

### （３）就学・通学への支援

| 計画事業名 | 事業内容 | 担当課 |
|---|---|---|
| 就学費援助事業 | 経済的な理由により、就学が困難な児童生徒に対し、学用品費や給食費等の援助を行います。 | 教育総務課 |
| 【 実施状況 】 | 要保護及び準要保護児童生徒に対し、就学援助費（学用品費、校外活動費、学校給食費等）を支給しました。<br>※令和５年度実績<br>３月末現在認定者数<br>【要保護】 （小） ２名，（中） １名<br>【準要保護】（小）146 名，（中）88 名<br>支給額（小）10,240,584 円、（中）10,185,925 円 | |
| 【 成果と課題 】<br>〔○成果 ▲課題〕 | ○経済的理由で就学が困難な児童生徒への援助により、保護者負担が軽減され、教育の機会均等を保つことに資しています。<br>▲国が示す基準額の増加に伴い、要保護・準要保護児童生徒にかかる援助費が増加傾向にあり、財源の確保が課題となっています。 | |

| | | |
|---|---|---|
| ふるさと創生奨学資金貸付事業 | 経済的な理由により、義務教育終了後の修学が困難な生徒に対し、奨学資金の貸付を行います。 | 教育総務課 |
| 【 実施状況 】 | 経済的理由で高校・大学等に進学することが困難な者に対して奨学資金を貸し付けることにより、就学の機会を失することなく、地域の将来を担う有為な人材を育成するための援助を行っています。<br>※令和５年度実績<br>３月末現在貸付者 11 名<br>３月末現在返還者 41 名 | |
| 【 成果と課題 】<br>〔○成果 ▲課題〕 | ○貸付基準を満たす希望者全員に貸付を行っており、人材育成に寄与しています。<br>▲国が高等教育の修学支援を強化し、奨学金制度の充実が図られていることに加え、少子化の影響もあり、利用者が減少しているため、制度見直しのタイミングであると考えます。 | |

| | | |
|---|---|---|
| 重点<br>遠距離通学支援事業 | 遠距離通学の児童生徒に対し、スクールバスの運行等により通学支援を行います。 | 教育総務課 |
| 【 実施状況 】 | 遠距離通学費の無償化と共に、スクールバスを運行し、児童生徒の安全な通学に資しています。 | |

| | |
|---|---|
| 【 成果と課題 】<br>〔○成果 ▲課題〕 | ○遠距離通学に伴う保護者の負担軽減が図られています。<br>○市が所有するスクールバスを運行することにより、通学時の児童生徒が、安全に通学できています。 |

**（４）教育環境の整備・充実**

| 計画事業名 | 事業内容 | 担当課 |
|---|---|---|
| 重点<br>学校施設の整備充実 | 学校施設の耐震化を図るとともに、防音対策など、学習環境向上のための施設整備や老朽化した学校施設の改修を行います。 | 建築施設課<br>教育総務課 |
| 【 実施状況 】 | ・那古小学校屋上防水改修が完了しました。<br>・館山中学校新施設の新体育館新築と既存体育館改修が着工しました。 | |
| 【 成果と課題 】<br>〔○成果 ▲課題〕 | ○那古小学校の屋上防水改修により雨漏りがなくなり、教育環境が確保されました。<br>○館山中学校新施設として新体育館の新築と老朽化した既存体育館の改修により、学習環境向上が図られます。 | |

| | | |
|---|---|---|
| 学校用教材備品の整備 | 新学習指導要領に基づく備品を計画的に整備し、快適な学習環境と教育効果の向上に努めます。 | 教育総務課 |
| 【 実施状況 】 | 学校備品の更新や必要な教材を購入し、教育環境の向上を図りました。<br>※令和５年度実績<br>小学校 4,205,183 円　中学校 1,881,257 円 | |
| 【 成果と課題 】<br>〔○成果 ▲課題〕 | ○令和５年度は、概ね各校要望どおりの備品を整備することができました。<br>▲厳しい財政状況の中、計画的な整備が困難となっています。 | |

| | | |
|---|---|---|
| 重点<br>少子化に対応した教育環境の向上 | 『館山市学校再編基本指針』に基づき、教育環境の向上を目的とした中・長期的な学校再編を検討します。 | 教育総務課（教育推進室） |
| 【 実施状況 】 | 令和４年３月策定の「将来に向けた学校のあり方に対する基本指針」に基づき、小学校区単位にて組織した「学校のあり方を考える会」などを中心に、令和５年６月までに学校再編に向けた保護者意見の集約化（子供達にとって望ましい学校規模について）を行いました。<br>その後、各地区住民へ保護者の考えの説明・周知を行い、令和５年 11 月市の附属機関である「学校再編調査検討委員会」において、具体的な学校再編計画（統合内容・時期等）の素案を策定し、公表しました。<br>令和５年 11 月～令和６年３月にかけては、各地区保護者の方々と公表した素案についての意見交換を実施したところです。 | |

| | |
|---|---|
| 【 成果と課題 】<br>〔○成果 ▲課題〕 | ○ 少子化の時代においても、未来を担う子供達により良い教育環境を提供するため「新しきもの・より良きものを創造する」ことをコンセプトに、市内全ての小中学校を対象とした「館山市学校再編計画」の策定（Ｒ６年度中）に向け、予定を前倒しして“計画素案”を保護者や地域の方々へ提示することが出来ました。<br>○ 市内 10 地区中９地区の保護者の方々から、同素案に対して理解を頂けたところです。<br>▲ 市内１地区の保護者・住民からは“計画素案”に反対する意見を頂いており、同地区との今後の協議について課題が残っています。 |

| | | |
|---|---|---|
| 学校区コミュニティの形成 | 地域との連携・協力により、地域を挙げて次世代を担う児童生徒を育てる体制をつくります。 | 教育総務課 |
| 【 実施状況 】 | ・学校評価を実施し、その結果について分析を行うとともに保護者や地域に公開しています。<br>・定期的に学校評議員会議を開催し、学校運営状況を説明するとともに学校運営の改善について検討を重ねています。<br>・学校行事等を保護者や地域に知らせるとともに、その参加を依頼し、学校の取組や様子を知らせています。<br>・ホームページやブログを活用し、各校の情報を発信しています。<br>・児童生徒の安全確保、また、日頃からの見守り体制を構築するため、安心安全サポーター（地域見守り隊）の方々と定期的に情報交換を行っています。<br>・各校で教育ミニ集会を開催するなど、次代を担う子供たちのより良い成長について地域の方々と考えています。 | |
| 【 成果と課題 】<br>〔○成果 ▲課題〕 | ○学校便り、ホームページやブログ等により、学校行事や取組内容について、地域等に対し情報発信が図られました。<br>▲学校評議員、安心安全サポーター等、学校活動に協力をいただいている地域人材の高齢化が課題です。 | |

| | | |
|---|---|---|
| 重点<br>情報教育環境の整備 | 「ＧＩＧＡスクール構想」の実現に向けて整備したＩＣＴ環境を活用し、効果的な指導・学習を推進します。 | 教育総務課 |
| 【 実施状況 】 | 一人一台タブレット端末を始めとしたＩＣＴ環境を活用した授業や家庭学習を実施しました。 | |
| 【 成果と課題 】<br>〔○成果 ▲課題〕 | ○学校便り、ホームページやブログ等により、学校行事や取組内容について、地域等に対し情報発信が図られました。<br>▲学校評議員、安心安全サポーター等、学校活動に協力をいただいている地域人材の高齢化が課題です。 | |

# 第２節　青少年の健全育成強化

## ■ 基本方針

- 体験講座の開催や青少年育成事業の支援等により、子どもたちの郷土への誇りや愛着心、生きる力をはぐくむための機会を充実させます。
- 地域の人や異学年との関わりの中で、青少年が社会性や規範意識等を身に付け、心豊かで健やかにはぐくまれる環境づくりを推進します。

### （１） 青少年の健全育成強化

| 計画事業名 | 事業内容 | 担当課 |
|---|---|---|
| 青少年健全育成体制の充実 | ＰＴＡや子ども会、青少年相談員、各種社会教育関係団体の自主的な活動を支援し、青少年の健全育成を図ります。 | 生涯学習課 |
| 【 実施状況 】 | 新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を行いながら、ガールスカウト・あわ夢まつり・フラメンコ事業及び青少年相談員による各種活動が実施できました。 | |
| 【 成果と課題 】<br>〔○成果 ▲課題〕 | ▲少子化や児童・生徒のライフスタイルの変化による参加者の減少や、地域コミュニティの変化による子ども及び子ども会加入者が減少してきています。<br>▲地域交流の場の減少や人と人との繋がりが変化している状況でのイベント開催方法等の模索が必要です。 | |

| | | |
|---|---|---|
| 放課後子供教室の推進 | 地域の人とともに勉強やスポーツ、文化活動、遊びなど、様々な体験ができる放課後子供教室を実施します。 | 生涯学習課 |
| 【 実施状況 】 | 新型コロナウイルス感染症の５類相当への移行後も感染防止対策を講じながら実施しました。インフルエンザ等による学年・学級閉鎖や夏場の熱中症の危険度が高い日などは教室を中止しました。 | |
| 【 成果と課題 】<br>〔○成果 ▲課題〕 | ○子どもから人気もあり、参加率もいいことから効果はあるものと考えています。<br>▲学力向上を視野に入れた学校教育との連携及び学童クラブとの連携が必要です。<br>▲コーディネーターやボランティアスタッフ等の育成及び拡充を推進します。<br>▲学校規模（児童数）による実施回数や必要なスタッフの数等に差が生じています。 | |

| | | |
|---|---|---|
| ふるさと体験活動の推進 | 子どもたちの郷土への誇りや愛着心、「生きる力」をはぐくむため、自然や歴史、文化、農業体験等、幅広い分野の体験講座を開催します。 | 中央公民館 |
| 【 実施状況 】 | 親子を対象に「たてやまワクワク探検隊」（ホタル観察）、小学生を対象に「沖ノ島探検隊」を開催しました。 | |
| 【 成果と課題 】<br>〔○成果 ▲課題〕 | ○自然体験を通じて、自然界の仕組みや生態系について学ぶことができました。また、自然環境の大切さを肌で感じることにより、環境保護への関心が図られました。<br>▲事業内容が自然体験教室に偏っています。 | |

# 第３節　生涯学習の推進

## ■ 基本方針

- 多種多様な生涯学習機会を提供するため、博物館・図書館・公民館の更なる充実を図ります。
- 市民の自主的な学びやサークル活動を支援するとともに、生涯学習ボランティア制度の活用を通じて、市民の豊富な知識や経験を地域社会に還元してもらうための取組を推進します。

### （１） 学習機会の提供

| 計画事業名 | 事業内容 | 担当課 |
|---|---|---|
| 生涯学習講座・教室の開催 | 豊かな地域資源と様々な情報資源を活用し、多様な学習機会を提供することより、市民の自主的な学習活動を促進します。 | 中央公民館<br>図書館 |
| 【 実施状況 】 | 【中央公民館】<br>・成人講座、家庭教育講座、青少年講座を実施しました。<br>・地区公民館において、地域のニーズに配慮し、講座を実施しました。<br>【図書館】<br>・「子ども向け講座」及び「おはなし会」を開催しました。<br>・「一般向けの図書館講座」を開催しました。<br>・新型コロナウイルス感染症対策のため休止していた「わらべうたの会」を、新型コロナウイルスの５類移行に伴い、令和５年５月より再開しました。 | |
| 【 成果と課題 】<br>〔○成果 ▲課題〕 | 【中央公民館】<br>○地元の自然や文化資源を活用した講座を開催することにより、地域の魅力を再発見する機会につながりました。<br>▲中央公民館、地区公民館それぞれの特性を活かした講座開催が必要となります。<br>【図書館】<br>○講座の実施により、子どもから大人まで、参加者には図書館の利用、役割等について理解してもらい、一定の評価が得られました。<br>▲継続して図書館機能や役割の周知を図るとともに、郷土資料などの図書館資料の利活動や、ボランティアの後継者育成につながるような行事の計画を立案し、実施していく必要があります。 | |

| | | |
|---|---|---|
| 家庭教育事業の推進 | 家庭教育学級や子育て支援講座等の実施による家庭教育の知識向上とともに、子育てについての相談窓口及び情報提供の充実により、家庭教育力の向上を図ります。 | 中央公民館 |
| 【 実施状況 】 | ・家庭教育学級の開設支援や講演会の開催、子育て支援事業を実施しました。<br>・家庭教育や子育てに対する相談窓口の運営を行いました。 | |
| 【 成果と課題 】<br>〔○成果 ▲課題〕 | ○家庭教育学級を通じて、親子のコミュニケーションが図られました。また、家庭教育学級を通じて得られる人間関係やネットワークの構築が図られました。<br>▲家庭や青少年、児童を取り巻く環境の変化への対応が求められています。 | |

| | | |
|---|---|---|
| 児童サービスの充実 | 子どもの発育段階に対応した魅力的な書架づくりと、児童と本とを結び付けるきっかけづくりを行うことにより、本の楽しさに触れられる機会を提供します。 | 図書館 |
| 【 実施状況 】 | ・幼児・児童を対象に、豊かな想像力と語学力が育まれるよう読書支援の一環として、「おはなし会」を３４回開催しました。<br>・「子ども向け講座」を３回開催しました。<br>・新型コロナウイルス感染症対策のため休止していた「わらべうたの会」を、新型コロナウイルスの５類移行に伴い、令和５年５月より再開しました。<br>・図書館を利用しやすくする環境整備として、子連れでも気兼ねなく過ごすことができるようキッズタイムを実施しました。 | |
| 【 成果と課題 】<br>〔○成果 ▲課題〕 | ○行事を通じ、本と親しむきっかけづくりとしての読書支援や図書館の活用方法など図書館についての理解を促進する機会を提供することができました。<br>▲子どもの知的欲求に応えられるよう、児童の発達段階に応じた資料や幅広い分野の資料を収集し、魅力的な蔵書の構築に努める必要があります。<br>▲事業の参加者を増やすため、児童サービスについての計画的な情報発信を行う必要があります。 | |

| | | |
|---|---|---|
| 図書館機能の充実 | 市民の「読みたい」「知りたい」「調べたい」という知的好奇心にこたえることのできる資料を収集・提供するとともに、図書館資料を使っての調査相談（レファレンス）サービスの提供やインターネットによる蔵書検索・予約、図書館システムの利活用による効率的な資料管理により、市民の多様なニーズに対応した資料や情報の提供を行います。 | 図書館 |

| | |
|---|---|
| 【 実施状況 】 | ・市民の知る権利を保障するため、また多様な読書要求や学習要求に幅広く応えられるよう、資料の整備充実を図るとともに、利用者への貸出や調査相談（レファレンス）を行いました。<br>＜令和５年度＞<br>所蔵資料点数　163,354 点<br>資料購入点数　2,241 点<br>資料貸出点数　111,689 点<br>レファレンス受付件数　1,992 点<br>・図書館システムを用い、確実な資料管理に努めるとともに、インターネット検索・予約等で利用者の利便性の向上を図りました。<br>＜令和５年度＞<br>予約総件数　7,095 点<br>うちインターネット予約件数　5,008 点<br>・電子図書購入を増やし、いつでもどこでも読書を楽しむことのできる電子図書館サービスを行いました。<br>＜令和５年度＞<br>電子図書購入数　291 点<br>電子書籍貸出点数　1,771 点<br>・幅広い分野の資料に利用者が触れられるよう、季節や話題の出来事など様々なテーマでの企画展示を行いました。 |
| 【 成果と課題 】<br>〔○成果 ▲課題〕 | ○引き続き資料の収集、充実を図るとともに、インターネットなども活用し、市民の生涯学習の支援に寄与しました。<br>▲経年の資料の蓄積により、収集能力が限界を迎えているため、図書館システムによる適切な資料管理と更なる除籍作業を進める必要があります。<br>▲図書館資料と利用者をつなぐための司書は、知識を蓄積し、地域事情にも精通していることが必要なため、専門職としての確固たる位置づけと継続的な育成・配置が必要となります。 |

**（２） 学習活動の支援**

| 計画事業名 | 事業内容 | 担当課 |
|---|---|---|
| サークル活動の支援 | 新たなサークル参加者を増やすための活動や自主的なサークル活動等に対する専門性を活かした指導、助言等の支援を行い、活動の活性化を図ります。 | 中央公民館<br>博物館 |
| 【 実施状況 】 | 【中央公民館】<br>・中央公民館サークル連絡会の活動支援や協働事業を実施しました。<br>・中央公民館、地区公民館等で活躍するサークルが日頃の成果を発表する場として、サークルフェスティバルを開催しました。<br>・令和５年度開催のサークルフェスティバルでは、ワークショップ形式などの体験会を設けました。 | |

| | |
|---|---|
| | 【博物館】<br>市民サークル「城山古文書会」へ博物館収蔵資料の写真をテキストとして提供しました。 |
| 【 成果と課題 】<br>〔○成果 ▲課題〕 | 【中央公民館】<br>○サークル活動への新たな参加者を増やすための事業展開や自主的なサークル活動の支援となりました。<br>○サークルフェスティバルでは、ワークショップ形式などの体験会を通じて、多世代間交流が図られました。<br>▲高齢化の進むサークル活動の維持が課題です。<br>【博物館】<br>○博物館収蔵資料の写真をテキストとして提供し、サークル活動の維持、活性化を図りました。<br>▲サークル等の市民学習活動に対し、自主性や学芸員の業務量等を考慮しながら、適切な助言・サポートを継続していく必要があります。 |

| | | |
|---|---|---|
| 生涯学習ボランティア制度の充実 | 学校への支援や多様化する学習ニーズに対応するため、市民の豊富な知識や経験等を活用する仕組みづくりを進めます。また、ミュージアムサポーターを拡充することにより、博物館事業の充実を図ります。 | 生涯学習課<br>博物館 |
| 【 実施状況 】 | 【生涯学習課】<br>・82 講座（市：60 講座、市民ボランティア 22 講座）を開設しました。<br>・100 回の講座を実施し、2,260 人の参加がありました。<br>・防災講座や手話サークルの講座などは複数回開催しました。<br>【博物館】<br>ミュージアムサポーター「絵図士」による文化財マップの作成や、博物館本館でのパネル展示を監修しました。作成したマップは本館で配布するほか、博物館が運営するWEBサイトで公開しています。<br>マップ作成数　２件（白滝不動尊、高皇産霊神社と善浄寺）<br>館内展示　　３回（慈恩院、國司神社、小網寺） | |
| 【 成果と課題 】<br>〔○成果 ▲課題〕 | 【生涯学習課】<br>▲出前講座等、生涯学習に関する市民活動の拡充を図るため、市民の学びの機会を提供する仕組みづくりや利便性の向上に努めます。<br>特に、市民ボランティアの講師の活躍の場を拡げられるよう工夫していきます。<br>【博物館】<br>○豊富な知識、経験等を有する市民に活動の機会を提供し、人材の活用を図りました。<br>○市民による主体的な地域資源の掘り起こしを行い、学習や文化観光に活用しました。<br>▲ボランティアが継続して活動できる環境、体制の整備が必要です。<br>▲高齢化が進んでおり、活動量の見直しや新たなボランティアの募集を検討する必要があります。 | |

# 第４節　歴史の継承と文化の振興

## ■ 基本方針

- 寺社、史跡、歴史的建造物、民俗芸能、博物館が収蔵する歴史文化遺産を保存・継承するとともに、それらの活用により、観光やまちづくりなど、地域の活性化につながる取組を進めます。
- 市民自らが、主体的に芸術文化活動ができるように、発表する場の提供や情報提供に取り組んでいきます。

### （１） 歴史・文化の保存・継承

| 計画事業名 | 事業内容 | 担当課 |
|---|---|---|
| 郷土に関する展覧会・講座等の充実 | 歴史文化遺産の展示公開や郷土の魅力を理解する展示・講座の拡充を図ることにより、郷土に対する誇りや愛着心をはぐくむとともに、先人の歩みや地域性を紹介することにより、歴史から学ぶ力を醸成します。 | 博物館<br>中央公民館 |
| 【 実施状況 】 | 【博物館】<br>＜常設展示＞<br>本館：館山、安房地方の歴史と民俗<br>分館（渚の博物館）：房総半島の海と生活<br>館山城（八犬伝博物館）南総里見八犬伝の世界<br>＜企画展示＞※会場は①～⑤博物館本館、⑥博物館分館で開催<br>①新収蔵資料展「あたらしい資料のご紹介」入館者7,328人<br>②企画展「関東大震災と館山」入館者10,230人<br>③開館40周年記念収蔵資料展「たてはく大図鑑」入館者8,263人<br>④特別公開「小網寺の密教法具」<br>⑤特別公開「新しく指定された小網寺の密教法具と安房の仏教文化」<br>⑥収蔵資料展「安房のおりなす未来の風　房州うちわ　技の伝承展」<br>＜教育普及事業＞<br>①歴史教室「古文書を読んでみよう」４クラス×全８回　受講生119人<br>②博物館・図書館合同講座「なつやすみ宿題大作戦」全２回　参加者11人<br>③歴史探訪「わたしの町の歴史探訪―宝貝・水岡―」参加者28人<br>④企画展講演会　全１回　参加者167人<br>⑤防災講座　全１回　参加者167人※④とおなじ<br>⑥歴史探訪「震災の足跡をめぐる」参加者31人<br>⑦企画展解説会　全２回　参加者61人<br>⑧収蔵展解説会　全２回　参加者26人<br>⑨講演会「新たに重要文化財となった小網寺の密教法具と柄香炉」　全１回 | |

| | |
|---|---|
| | 参加者57人<br>⑩分館収蔵資料解説会　全２回　参加者17人<br>⑪昔のくらし解説　九重小学校　外７校　受講者のべ 173 人<br>【中央公民館】<br>・一般市民を対象にした「ふるさと講座」については、地域の歴史や文化、自然をテーマとした講座を５回開催しました。<br>・「安房地区公民館連携講座」（安房郡市３市１町）は、各市町の特徴を生かしたテーマに沿った講座を２回開催しました。 |
| 【 成果と課題 】<br>〔○成果 ▲課題〕 | 【博物館】<br>○資料収集、調査研究の成果を展示や講座等で市民に還元し、新たな地域情報を発信できました。<br>○常設展のみでは紹介しきれない収蔵資料やテーマを企画展で取り上げ、郷土を深く知る手がかりを提供しました。<br>○教育普及事業の実施により市民党に学習機会を提供し、地域への理解や愛着を醸成しました。<br>○展示会場における解説会のほか、市公式YouTubeチャンネル上で、学芸員による企画展等の解説動画を配信しました。<br>○参加者の利便性向上のため、対面とオンラインを併用した講演会を開催しました。<br>▲企画展の実施により、新たなテーマの掘り起こしや資料の活用、市民への普及を継続していくことが必要です。<br>▲展示や収蔵資料の解説動画公開や講座のオンライン開催など、インターネットの活用による利便性向上をより進めることが必要です。<br>▲現在の講座を継続しつつ、指定管理者自主事業等との協働も視野に入れ、より多くの市民に学習機会を提供していく必要があります。<br>【中央公民館】<br>○地域の歴史や文化について学ぶことにより、地域資源の価値が再認識される機会となりました。<br>▲人口減少・社会情勢に配慮した講座が求められています。<br>▲人口減少・高齢化により、市の枠組みを超えた連携が必要です。 |

| | | |
|---|---|---|
| 郷土資料の収集・保存と提供 | 歴史・文化など地域資源の情報発信や地域課題の解決という視点から、郷土資料の収集・保存と情報提供機能の充実を図ります。 | 博物館<br>図書館 |
| 【 実施状況 】 | 【博物館】<br>令和５年度 新規収蔵資料 1,722点<br>令和５年度 資料特別利用 136 件（調査研究・出版物掲載・テレビ取材・展示・その他）<br>【図書館】<br>・図書を中心に、館山・安房地域にゆかりのある作家の著書や歴史・伝統文化に関する資料や行政資料などの郷土資料の収集・整理・提供を行いました。 | |

| | |
|---|---|
| | ＜令和５年度＞<br>郷土資料所蔵点数　　7,964 点<br>郷土資料貸出点数　　375 点 |
| 【 成果と課題 】<br>〔○成果 ▲課題〕 | 【博物館】<br>○様々な社会状況により歴史的な資料が滅失する中で、市民等からの寄付を中心に多くの地域資料を収集できました。<br>○WEBサイトを活用したデジタルアーカイブ等の公開により、資料利用を促進できました。<br>▲実物資料を継続的に収集していくため、限られた収蔵スペースの更なる有効活用が必要です。<br>▲資料収集にあたっては、施設の老朽化や収蔵スペースを考慮し、資料の重要度・優先度をふまえた選別を行っていきます。<br>▲地域資料は所有者の関心の低下や建物の取壊しにより廃棄の可能性が高く、収集・保存の重要性について、市民の理解、協力を得られるようさらなる情報発信が必要です。<br>▲収蔵庫の環境整備を行い、資料の適切な保存管理を行っていくことが必要です。<br>【図書館】<br>○一般流通していない郷土資料や行政資料についても、寄贈により収集を行いました。<br>▲郷土の歴史を未来に伝えていくために、継続的な郷土資料の収集・保存を行い、利活用を図りながら継承していく必要があります。<br>▲館山市図書館のみが保有する資料のデジタル化を検討する必要があります。また、デジタル化した資料を電子図書館に登録し、貴重な資料を広く閲覧できるよう整備していく必要があります。<br>▲ボランティアの協力により、資料の修復・維持に努めていますが、後継者の育成が課題です。 |

| | | |
|---|---|---|
| 博物館機能の充実 | 博物館本館、館山城、渚の博物館それぞれの特色を活かした効率的な運営方法を検討します。また、指定管理者との連携・協働を推進します。 | 博物館 |
| 【 実施状況 】 | ＜指定管理者による運営＞<br>指定管理者により、本館、八犬伝博物館（館山城）、渚の博物館等の業務が実施されました。<br>指定管理者 株式会社塚原緑地研究所 代表取締役 塚原道夫<br>期間 令和元年12月１日～令和6年11月30日<br>＜適切な施設設備の維持管理＞<br>老朽化や故障に対し、早期な修繕に努めました。<br>館山市立博物館し尿浄化槽排水管修繕工事　407,000円（税込）<br>博物館本館カーテン修繕一式　117,700 円（税込）外２件 合計 582,946 円 | |

| | |
|---|---|
| 【 成果と課題 】<br>〔○成果 ▲課題〕 | ＜指定管理者による運営＞<br>○指定管理者により、より魅力的な施設とするために適正な管理を実施しました。<br>本館 …受付業務<br>館山城 …受付業務、施設・維持管理業務<br>渚の博物館…受付業務<br>○指定管理者による集客を目的とした自主事業による企画展示、イベント等が開催されました。<br>イベント<br>館山城企画展「南総里見八犬伝総選挙」<br>館山城企画展「馬琴展」<br>館山城・城山公園コス プレイベント「acosta!@館山城～里見ゆかりの地～」<br>館山城企画展「八犬伝と双六展」<br>▲行政と指定管理者が一層の連携することで、魅力ある城山公園エリアの創生が期待されています。<br>＜施設設備の維持管理＞<br>○施設設備の延命化と適正な修繕に努めました。<br>▲施設等の老朽化が進む中、適正な維持管理を実施していくには、不具合等の早期発見、修繕など早期着手が必要です。<br>▲今まで、収集した文化財資料を適切に保管するには、収蔵庫を適切に維持、管理することが必要です。 |

| | | |
|---|---|---|
| 文化財の保存・活用 | 文化財の調査・指定により、修復や防災対策等、保存に必要な措置を計画的に行います。また、活用を図るため、広く市民が文化財に親しむ機会を提供します。 | 生涯学習課 |
| 【 実施状況 】 | ・文化財保護強調週間に合わせ、２日間５か所で非公開文化財の特別公開を実施しました。<br>・文化財説明看板等の修繕及び新規設置を実施するとともに、全ての看板の点検を実施し、看板台帳を更新しました。<br>・市広報や会議所だよりを活用し、建設事業者や設計事務所に対し、埋蔵文化財包蔵地の周知を行いました。<br>・文化庁の補助事業を活用し、各地区が実施した祭礼道具の修理に対し助言を行いました。 | |
| 【 成果と課題 】<br>〔○成果 ▲課題〕 | ○看板の設置により文化財の周知が図られました。また、文化財周辺の環境整備を行い、文化財の適切な保存と来訪者への理解が深められました。<br>▲国・県・市の指定文化財や登録文化財を合わせると 100 箇所以上となるため、巡回等により計画的に看板の設置や補修を図っていく必要があります。 | |

| | | |
|---|---|---|
| 観光スポットとしての歴史文化遺産の活用 | 寺社、戦国大名里見氏、青木繁「海の幸」、近代の戦争遺跡等に関連する歴史文化遺産や市内から輩出した偉人の歴史学習を推進するとともに観光やまちづくりに活かします。 | 生涯学習課 |
| 【 実施状況 】 | ・千葉県誕生 150 周年記念事業として、千葉県民の日に赤山地下壕跡を無料開放するとともに、オリジナル缶バッジの製作体験を実施しました。<br>・基金を活用し、市指定有形文化財「小谷家住宅」の修理を行いました。<br>・市内に設置されている野外彫刻作品をパブリックアートとして、市ホームページや SNS、新聞連載等で紹介しました。また、専門家を講師に迎え、３月に城山公園「彫刻の径」の作品を対象に清掃ワークショップを開催しました。 | |
| 【 成果と課題 】<br>〔○成果 ▲課題〕 | ○千葉県民の日は赤山地下壕跡に 155 人が入壕し、缶バッジ製作体験には 75 人が参加しました。<br>○パブリックアートの周知により、関心が広まった。清掃ワークショップには 22 人が参加しました。<br>▲８月 14 日に赤山地下壕跡内のコンクリートモルタル吹付部分が剥離したため、現在も休壕措置をとっています。（Ｒ７年度の再開を目指しています。） | |

| | | |
|---|---|---|
| 民俗芸能伝承者の育成 | 民俗芸能大会への出演支援や継承のための映像記録作成により、伝承者の育成を図ります。 | 生涯学習課 |
| 【 実施状況 】 | ・民俗文化財の状況把握に努めました。<br>・新型コロナウイルス感染の拡大により民俗芸能の実施が困難となっていたものの、徐々に再開してきています。 | |
| 【 成果と課題 】<br>〔○成果 ▲課題〕 | ○民俗芸能の実施が困難になっている中、文化庁の補助事業を活用し、各地区が祭礼道具の修理を積極的に行いました。<br>▲少子高齢化やライフスタイルの変化により伝承者が減少し、後継者育成が難しくなっています。<br>▲活動を続けるうえでの資金が不足しています。 | |

| | | |
|---|---|---|
| 国史跡「里見氏城跡 稲村城跡」の保存・整備 | 地権者や地域住民、市民団体と連携し、適切な保存管理を行います。また、広域連携により、国史跡「里見氏城跡」の整備・活用による地域活性化に向けた検討を行います。 | 生涯学習課 |
| 【 実施状況 】 | ・地域と連携し保存管理を行いました。<br>・南房総市と連携し、里見氏城跡の整備・活用の検討を行いました。<br>・今後の方針について、千葉県や南房総市と情報交換を行いました。 | |
| 【 成果と課題 】<br>〔○成果 ▲課題〕 | ○管理委託により、史跡の適切な保存管理が図られました。<br>▲史跡として整備していくためには権利関係の整理が必要です。<br>▲また、南房総市にある国史跡岡本城跡との連携した整備も必要となります。<br>▲文化財保存活用地域計画の策定にあわせ、稲村城跡の整備方針についても検討していく必要があります。 | |

| | | |
|---|---|---|
| 歴史・文化情報の発信強化 | 館山市の歴史・文化に関する情報を、博物館が運営するＷＥＢサイト「たてやまフィールドミュージアム」において発信し、地域の魅力発信に努めます。また、文化庁が運営するポータルサイト「文化遺産オンライン」に博物館収蔵資料の一部を掲載し、以前から要望のあった南総里見八犬伝、戦国大名里見氏、郷土史関連の収蔵資料をインターネットで公開します。 | 博物館 |
| 【 実施状況 】 | ・博物館が調査、収集した地域の歴史・民俗等の情報を、「たてやまフィールドミュージアム」で公開することで、館山の魅力を広く発信しました。<br>・文化庁「文化遺産オンライン」を活用し、収蔵資料の一部を公開しています。<br>・学芸員による企画展解説動画を市公式YouTube（市ＨＰ）で公開しました。<br>たてやまフィールドミュージアム閲覧者数 43,819人<br>ページビュー数 112,975 回 | |
| 【 成果と課題 】<br>〔○成果 ▲課題〕 | ○調査研究や企画展の成果をインターネット上で公開することで、利用者層の拡大、利便性の向上を図りました。<br>▲継続的な情報発信のため、資料データベースの更新、維持管理が必要です。 | |

**（２）文化の振興**

| 計画事業名 | 事業内容 | 担当課 |
|---|---|---|
| 芸術文化活動の充実 | 「館山市文化祭」や「館山市サークルフェスティバル」など、芸術文化活動の発表の場を提供し、市民の自主的な活動を支援します。 | 生涯学習課 |
| 【 実施状況 】 | ・市民に優れた文化鑑賞の機会を提供するため、芸術文化協会・茶道連盟の活動に対して助成を行いました。音楽鑑賞協会が開催した世界的なピアニストであるスタニスラフ・ブーニン氏のコンサートを後援・市 HP などで情報発信しました。 | |
| 【 成果と課題 】<br>〔○成果 ▲課題〕 | ○各団体に対する補助を行うことにより、コロナ禍明けであっても円滑な事業の実施ができ、市民に対し優れた文化鑑賞等の機会を提供することができました。<br>▲各団体の高齢化により会員の固定化、会員が減少しており、団体組織の活性化が課題となっています。 | |

| | | |
|---|---|---|
| 全国大学フラメンコフェスティバルの開催 | 館山市の温暖な気候と、「学生フラメンコのまち館山」のイメージを情報発信し、学生フラメンコをきっかけとした交流人口・関係人口の拡大を図ります。 | 生涯学習課 |
| 【 実施状況 】 | ・花火大会の開催に合わせ、「花火とフラメンコ」として事業を計画しましたが、花火大会の延期により商工会議所のホールにて実施しました。<br>・令和４年度から補助事業に変更となり、館山商工会議所青年部が主体となっ | |

| | |
|---|---|
| | た実行委員会により事業実施となりました。 |
| 【 成果と課題 】<br>〔○成果 ▲課題〕 | ○団体への補助を行うことにより、市民に対し希少な勧奨等の機会を提供することができました。<br>▲参加者が年々減少していく傾向にあり、また、特定の関係者の尽力により維持している部分もあるので、今後の事業の継続に対する対策が必要です。<br>▲主要メンバーの変更や学生の参加状況の変化等により開催できる内容・規模等の検討が必要となっています。 |

# 第５節　スポーツの振興によるまちづくり

## ■ 基本方針

- 市民が生涯を通じてスポーツに触れ合う機会を拡充し、市民の健康維持や活力ある社会の実現を目指します。
- ２０２０年東京オリンピック・パラリンピック競技大会によるレガシー（遺産）を見据えたまちづくりを推進します。
- 時代に合ったスポーツ観光を推進し、スポーツによる交流人口・関係人口の拡大を目指します。

### （１） 市民スポーツの振興

| 計画事業名 | 事業内容 | 担当課 |
|---|---|---|
| 生涯スポーツの機会提供 | 「館山ファミリースポーツクラブわかしお」の活動支援や各種スポーツ大会の開催など、スポーツに親しむ機会を提供し、市民の健康・体力の保持増進を図ります。 | スポーツ課 |
| 【 実施状況 】 | ラン＆ウォーク用の路面シートや看板を活用し、「鏡ケ浦サンセットウォーキング」の開催やユニバーサルスポーツとして、「ボッチャ大会」を開催し、市民の健康・体力向上を図ることができました。 | |
| 【 成果と課題 】<br>〔○成果 ▲課題〕 | ○新型コロナウイルス感染症の５類移行後、スポーツイベントは通常再開し、市民一人ひとりの健康・体力の保持増進を図ることができました。<br>▲スポーツ無関心層に対する、運動・スポーツの実施、習慣化に係る取り組みにより、健康・体力向上を図る必要があります。 | |

| | | |
|---|---|---|
| 社会体育団体の育成支援 | 社会体育団体の育成・支援を通じ、市民の健康・体力の保持増進や競技力向上、青少年の健全育成等を図り、活力ある社会の実現を目指します。 | スポーツ課 |
| 【 実施状況 】 | 館山市スポーツ協会（23 団体・会員約 3,800 人）、館山市スポーツ少年団（21 団体・団体 294 人・指導者 90 人）へ補助金を交付し、活動を支援しました。 | |
| 【 成果と課題 】<br>〔○成果 ▲課題〕 | ○館山市スポーツ協会及び館山市スポーツ少年団の活動を通じて、生涯スポーツ、競技スポーツの振興及び青少年の健全育成に寄与することができました。<br>▲少子高齢化により、団員数が減少傾向となっており、今後の各団体の継続、存続が困難な状況が見受けられます。 | |

| | | |
|---|---|---|
| 社会体育施設の整備充実 | 生涯スポーツの推進のため、既存体育施設の適切な維持管理・整備を行い、利用者の利便性・安全性の確保に努めます。 | スポーツ課 |
| 【 実施状況 】 | 施設の適切な維持管理、整備を行いました。<br>・市営市民体育館　消防設備修繕、照明器具等修繕<br>・市営西岬市民体育館　ガラス修繕<br>・市営 50 メートルプール　外部照明設備修繕、循環配管修繕<br>・市営出野尾多目的広場　夏芝切替え、冬芝切替え、更衣室空調機更新 | |
| 【 成果と課題 】<br>〔○成果 ▲課題〕 | ○施設の適切な維持管理を行い、利用者が安全安心に利用できる環境づくりを行いました。<br>▲施設老朽化に伴い、市営 25 メートル室内温水プールを閉所しました。プール利用者への活動の場の提供が課題となります。 | |

| | | |
|---|---|---|
| 学校体育施設の開放 | 小・中学校の体育館・グラウンド等を市民に開放し、市民の健康増進や体力づくり、地域に密着したスポーツ・レクリエーション活動を推進します。 | スポーツ課 |
| 【 実施状況 】 | スポーツ少年団やスポーツ愛好団体等に対して、小学校９校及び中学校３校の体育館・グラウンド・武道館の開放事業を行いました。 | |
| 【 成果と課題 】<br>〔○成果 ▲課題〕 | ○学校体育施設の開放により、スポーツ少年団やスポーツ愛好団体など様々な市民のスポーツ活動の場を提供し、生涯スポーツを推進しました。<br>▲学校体育施設の利用にあたり、夜間や駐車場等の利用マナーについて徹底する必要があります。 | |

**（2）スポーツ観光の推進**

| 計画事業名 | 事業内容 | 担当課 |
|---|---|---|
| 重点<br>オリンピック・パラリンピックのレガシー（遺産）を活かしたまちづくり | 観光施策と融合したスポーツ観光を推進し、館山湾をはじめとする自然環境や既存体育施設等の有効活用により、対応可能な競技の事前キャンプ等の誘致を進めます。また、市民のスポーツへの関心を高め、健康増進や体力づくり、競技力の向上に努めます。さらに、事前キャンプの実績を、館山の良好な自然環境と関連付け、来訪者向けに情報発信していきます。 | スポーツ課 |
| 【 実施状況 】 | 日本トライアスロン連合による強化合宿の実施や OWS 競技の日本学生選手権が初開催されました。 | |
| 【 成果と課題 】<br>〔○成果 ▲課題〕 | ○オランダトライアスロン競技の事前キャンプ地となったことにより、トライアスロン競技者のトレーニング適地として評価されました。<br>また、パラリンピックの正式種目でもある、「ボッチャ」の大会を継続開催するなど、ユニバーサルスポーツを開催し、市民への関心も高めることができました。 | |

| | |
|---|---|
| | ▲トライアスロン競技のトレーニング適地、館山へ訪れてもらえるように、ＳＮＳを活用し、情報発信をすることにより、さらなる交流人口の拡大に繋げていく必要があります。 |

| | | |
|---|---|---|
| 館山若潮マラソン大会の魅力向上 | 大会環境の向上とスポーツボランティアの育成・拡大に努め、大会参加者・地域住民などのニーズを可能な限り反映した大会を実施します。 | スポーツ課 |
| 【 実施状況 】 | ３年振りに通常開催として、大会を開催しました。 | |
| 【 成果と課題 】<br>〔○成果 ▲課題〕 | ○新型コロナウイルス感染症の５類移行後、通常開催となりました。約６千名の参加者、約１千名の競技役員・ボランティアと共に無事開催することができました。<br>▲コロナ禍における、マラソン離れも見られ、エントリー件数の回復を図るために、魅力ある大会をＰＲしていく必要があります。 | |

| | | |
|---|---|---|
| スポーツイベントの開催 | 自然環境や既存体育施設等を最大限に活かし、スポーツ愛好者からトップアスリートまで、幅広い層の交流人口の拡大を目指します。 | スポーツ課 |
| 【 実施状況 】 | 「館山わかしおトライアスロン」の開催や館山市スポーツ推進委員と共催の「サンセットウォーキング、私の体力チェック、ボッチャ大会」などの各種イベントを開催しました。 | |
| 【 成果と課題 】<br>〔○成果 ▲課題〕 | ○各種スポーツイベントの開催により、交流人口の拡大、市民の健康の維持、増進に寄与することができました。<br>▲さらなる交流人口に繋がるように、魅力ある大会をＰＲしていく必要があります。また、市民一人ひとりが取り組む健康増進・体力づくりが重要です。 | |